

NWQグローバル厳選証券ファンド
愛称：選択の達人

分配金のお知らせと足元の市場環境について
(新型コロナウイルス感染拡大の影響)

2020年3月18日

平素は、『NWQグローバル厳選証券ファンド（愛称：選択の達人）』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、2020年3月17日に決算を迎え、「為替ヘッジあり」および「為替ヘッジなし」につきましては、当期の収益分配金（1万口当たり、税引前。以下同じ。）をそれぞれ以下のおりと致しましたことをご報告申し上げます。

今後ともファンド運用にあたっては、パフォーマンスの向上をめざしてまいりますので、引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

■ 各コースの分配金（1万口当たり、税引前）

	為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
当期決算 分配金	85円	170円
基準価額 2020年3月17日現在	8,785円	8,373円

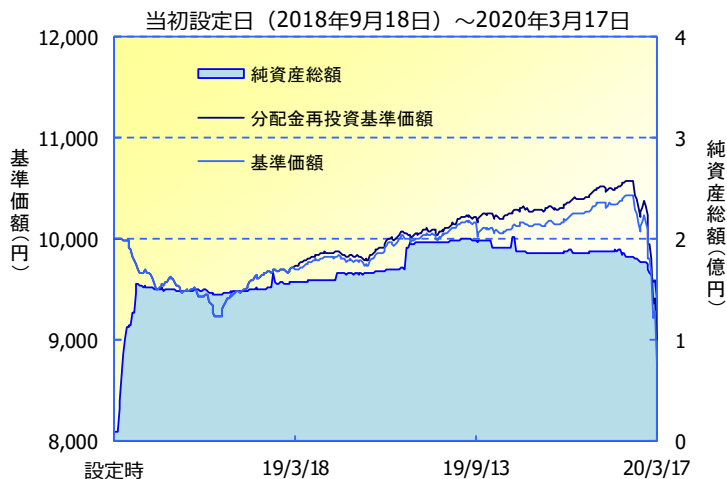
※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社（大和投資信託）が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

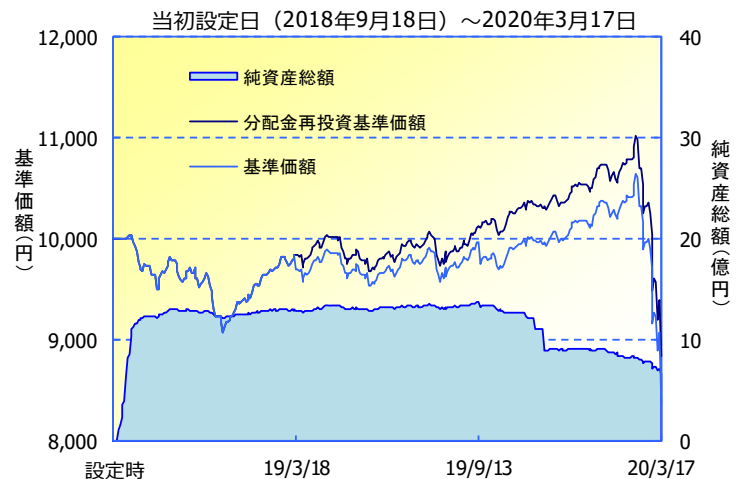
※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

為替ヘッジあり



為替ヘッジなし



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

分配方針

『NWQグローバル厳選証券ファンド（愛称：選択の達人）』の収益分配方針は、以下のとおりとなっています。

- ①分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
- ②原則として、配当等収益等を中心に分配を行うことをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社（大和投資信託）が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

ファンドマネージャーのコメント ※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

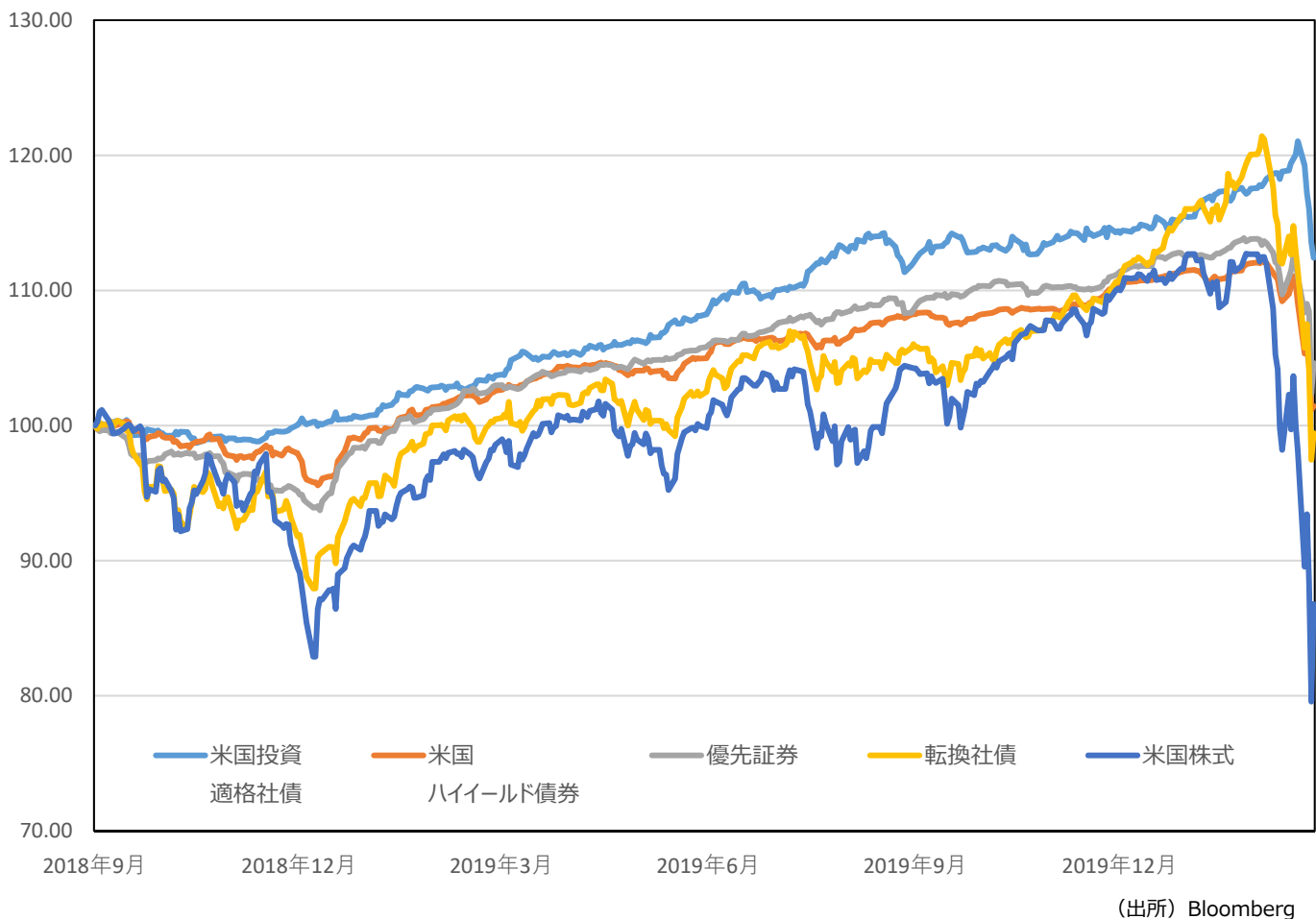
当ファンドの基準価額は、2020年2月後半までは堅調に推移しましたが、2月後半以降、市況の大幅下落の影響により、大きく値下がりする動きとなりました。

なお、当ファンドが組み入れている各資産のポートフォリオは、それぞれの資産の参考指数と比べ、株式、ハイイールド債券で上回り、その他の資産は下回る結果となりました（4ページ参照）。

＜設定来の市場環境＞

■ 設定来の資産別パフォーマンス推移

（2018年9月18日～2020年3月13日）



※当グラフで使用した指数について

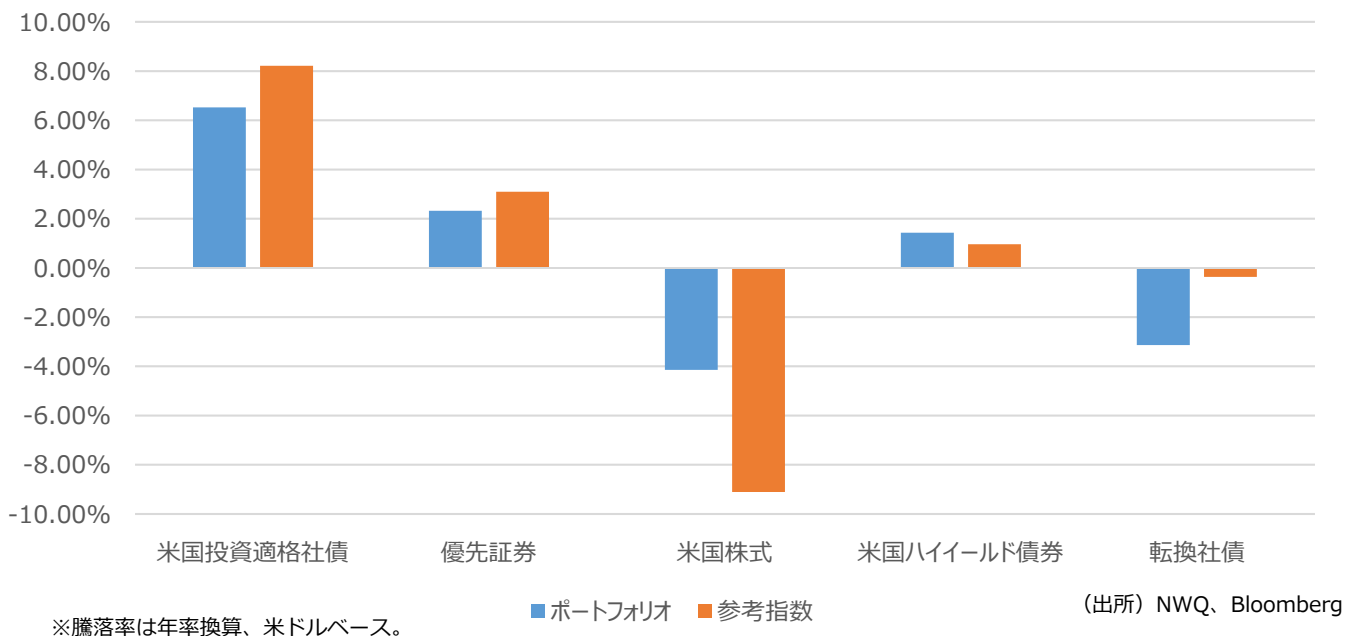
「米国投資適格社債」はICE BofAML US Corporate Index、「米国ハイイールド債券」はICE BofAML BB-B US High Yield Index、「優先証券」はICE BofAML Fixed Rate Preferred Securities Index、「転換社債」はICE BofAML US Convertible Index、「米国株式」はRussell 1000 Value Indexを使用。

2018年9月18日=100として指数化、指数はすべて米ドルベース。

資産別騰落率

(2018年9月18日～2020年3月13日)

設定来 (年率)



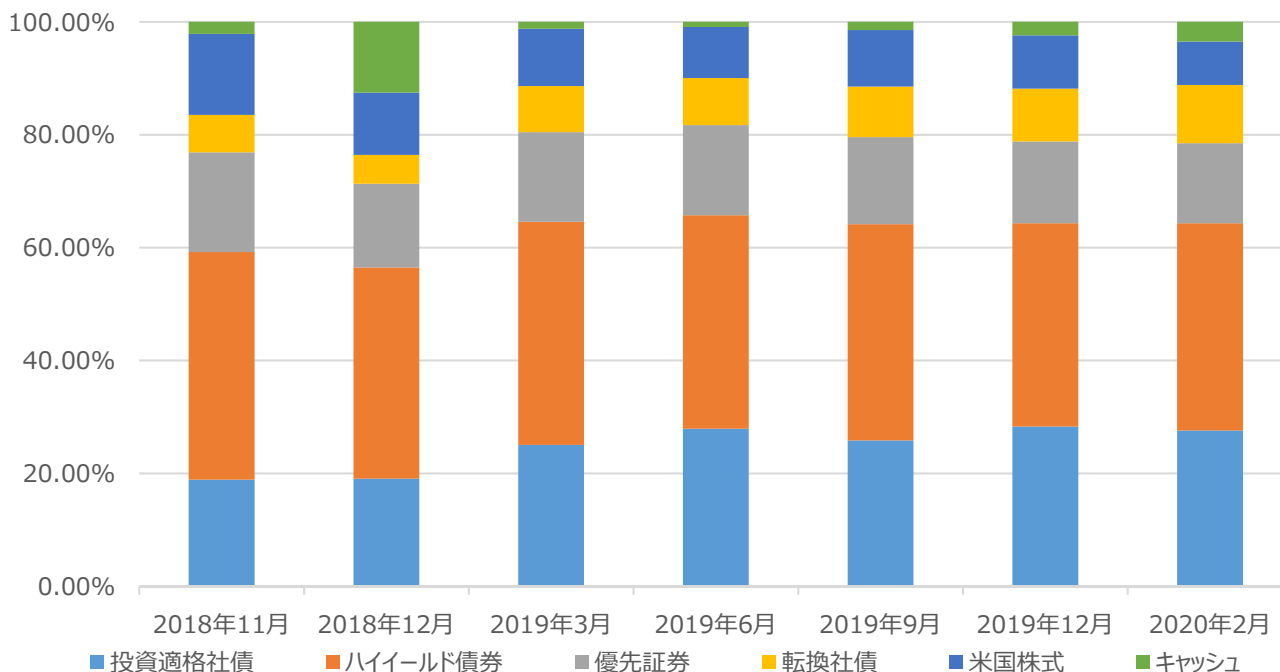
- 投資適格社債は、低金利環境の継続を受けて堅調に推移しました。当ファンドでは、BBB格中心に投資しA格以上の銘柄の比率が低位であったことなどがマイナス寄与となり、参考指数を下回りました。
- 優先証券は上昇しました。金融関連銘柄を組み入れていたことなどがマイナス寄与となり、参考指数を下回る結果となりました。
- 株式は下落しました。割安株である公益事業、ヘルスケア関連銘柄への投資が奏功し、参考指数を大きく上回る結果となりました。
- ハイイールド債券は上昇しました。低クレジット資産が売られる状況において、投資適格社債と比較すると低調なパフォーマンスとなりました。相対的にBB格が堅調に推移したことで、ファンドの騰落率は、参考指数を上回りました。
- 転換社債はほぼ横ばいでした。クレジットスプレッド拡大の影響から、ファンドの騰落率は参考指数を下回りました。

※当グラフで使用した指数について

「米国投資適格社債」はICE BofAML US Corporate Index、「米国ハイイールド債券」はICE BofAML BB-B US High Yield Index、「優先証券」はICE BofAML Fixed Rate Preferred Securities Index、「転換社債」はICE BofAML US Convertible Index、「米国株式」はRussell 1000 Value Indexを使用。指数はすべて米ドルベース。

＜設定来の運用状況＞

資産別構成比



■ 投資適格社債やハイイールド債券中心のポートフォリオを維持

■ ハイイールド債券から投資適格社債へ配分をシフト

トランプ政権の政治運営に関する先行き不透明感等を背景に、クレジット性資産に関してはクオリティの高い投資適格社債の比率を徐々に引き上げました。

■ 株式の組入比率を引き下げ

株式については、景気サイクルが後半期に突入するなど潜在的なリスクや、バリュエーション評価を考慮しながら、組入比率を引き下げるなど慎重なスタンスとしました。

安定的なインカム収入が享受でき、株式と比較して下値リスクが低い転換社債の組入比率を引き上げました。

■ 設定来において、良好なクレジット市場、長期金利低下から恩恵を受けた投資適格社債の組入比率を高位に維持したことなどがプラス要因となりました。

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

＜個別銘柄の投資事例＞

ネクステラ・エナジー・パートナーズ（転換社債、米ドル建）

STEP①：企業選択

FCF&カリスト

世界的再生可能エネルギー開発大手NextEra Energy社は傘下の同社へ再生可能エネルギー関連プロジェクトの譲渡を発表。これを受け、同社の配当成長率は15%に達すると予想。

銘柄発掘方法

カリフォルニアの主要提携先であるPG&E社が破産。同社株価は20%下落し、当株式を裏付けとする転換社債も割安な水準に低下したことに注目。



STEP②：証券選択

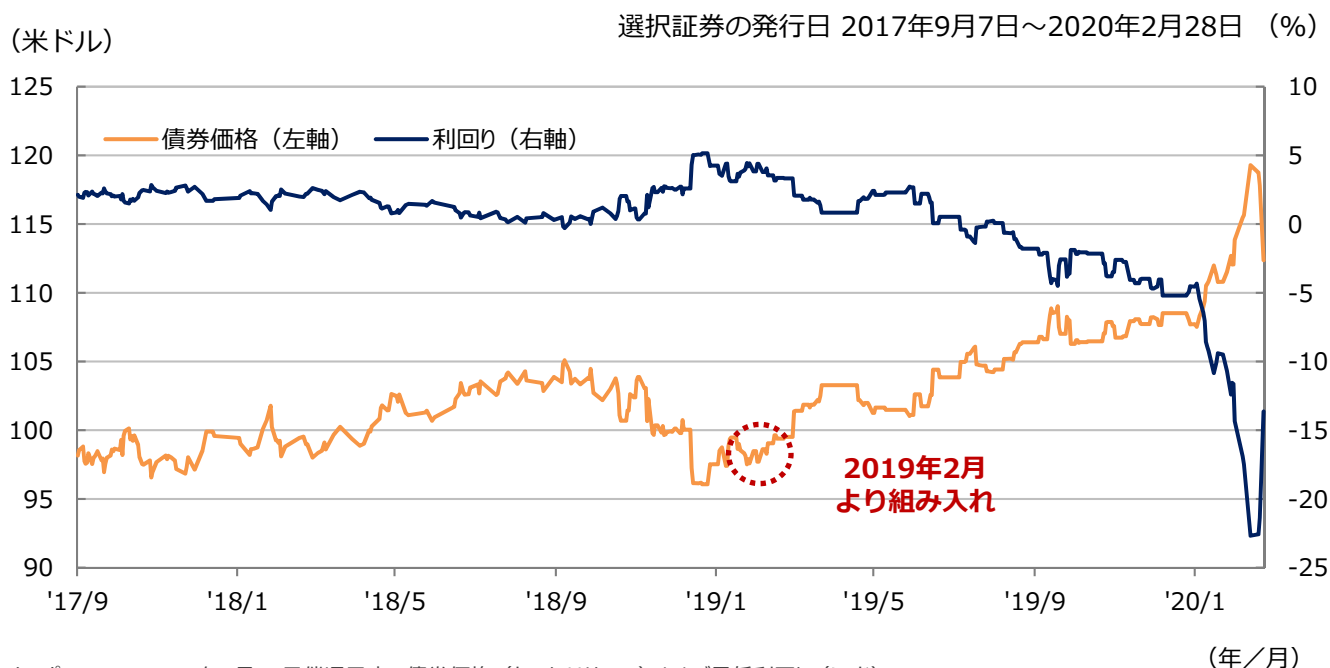
転換社債に注目

同社が手掛けるPG&E社とのクリーン・エネルギー・プロジェクトに関する契約の履行を可能とする支援が入ると予想。当支援によって契約の存続が可能となった場合には同社株価の回復および当転換社債の回復がみられると考え、動向を注視。株価が転換価格に達するまではインカム収入を享受し、株価上昇後は株式転換によってキャピタル・ゲインも獲得可能と判断。

事業内容

風力、太陽光発電など、クリーンエネルギー受託プロジェクトの保有、運営、取得を手掛けるエネルギー会社

債券価格および利回り*の推移



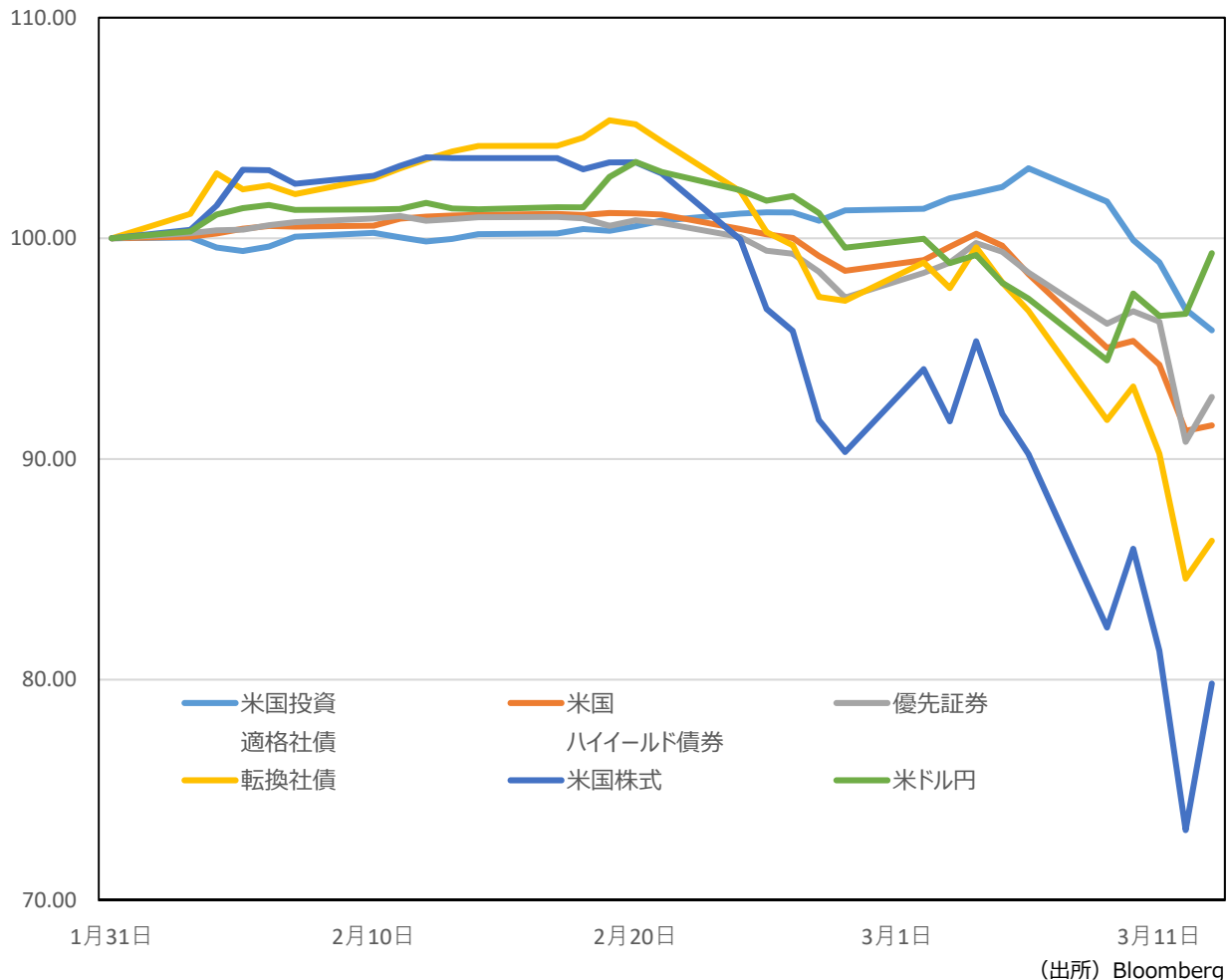
*クーポン1.5%、2020年9月15日償還予定の債券価格（トータルリターン）および最低利回り（ミッド）。

(出所) NWQ、Bloomberg

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

足元の市場環境について（新型コロナウイルス感染拡大の影響）

（2020年1月31日～2020年3月13日）



※当グラフで使用した指数について

「米国投資適格社債」はICE BofAML US Corporate Index、「米国ハイールド債券」はICE BofAML BB-B US High Yield Index、「優先証券」はICE BofAML Fixed Rate Preferred Securities Index、「転換社債」はICE BofAML US Convertible Index、「米国株式」はRussell 1000 Value Indexを使用。

2020年1月31日=100として指数化、指数はすべて米ドルベース。

＜市場環境＞

■ 株式などリスク資産を中心に全面安の展開、為替（米ドル円）も円高推移

株式市場は、新型コロナウイルスの感染拡大懸念、OPEC（石油輸出国機構）と非OPEC主要産油国による「OPECプラス」会合における減産交渉の決裂で、原油価格が急落したこと、米国の景気後退懸念の高まり、米国が新型コロナウイルス感染拡大への対策として英国を除く欧州からの渡航禁止を発表したことなどがマイナス材料となり、大幅な下落となりました。

投資適格社債は、投資家のリスク回避の動きから資金流入が活発化したこと、3月上旬にFOMC（米国連邦準備制度理事会）で0.5%の緊急利下げが実施されたことなどを受け、相対的に安定した値動きとなりました。

米ドル円は、日米金利差の縮小、リスク回避の円買いが優勢となり、円高が進行しました。

＜運用状況＞

- ボラティリティーの急激な高まり、景気サイクルが後半期に突入するリスクを考慮し、株式については投資比率を8%程度まで引き下げました。

【資産別の足元の投資行動】

- 投資適格社債：クレジット・スプレッドが大きく拡大した銘柄に投資。
- ハイイールド債券：デューレーションが短期で信用力が相対的に高い銘柄に投資。
- 転換社債：株式対比でダウンサイド・リスクが低位に抑えられる銘柄に投資。
- 優先証券：ETFなどからの大口売却によって過度な下落がみられた銘柄に投資。
- 株式：投資比率を8%程度まで引き下げ。候補銘柄の内、割安と判断した銘柄に投資。

＜今後の見通し＞

新型コロナウイルスに関する懸念は、短期的には市場の変動性を高める要因になるとみており、問題が長期化するに従い、実体経済への影響も今後出てくるとみられます。NWQ社では少なくとも当四半期の経済活動に影響を及ぼすとみています。

市場変動性が高まった足元の市場環境を考慮すると、ボラティルな相場により市場の歪みが発生し新たな投資機会が生まれると考えております。直近の市場変動は急激なものとなっていますが、当ファンドの運用戦略は中長期投資であり、現在のバリュエーションは、中長期的には魅力的であることから、米国を含む世界経済が回復に転じるにつれて、現在保有する資産につきましても回復すると考えます。

＜今後の運用方針＞

引き続き、企業の資本構成全体に対してボトム・アップ・アプローチに基づくファンダメンタルズ分析を行い、割安で放置されている、投資妙味の高い証券の特定に努め、リターンの創出を目指してまいります。米国では景気サイクルが後半期に突入したこと、2020年以降のグローバル経済に対する減速懸念が意識されることから、当ファンドでは、株式と比較して投資適格社債などクレジット性資産を強気にみており、また弁済順位の高い証券に投資妙味があると考えています。

ポートフォリオ全体としては引き続き投資銘柄および企業の選定が重要であると考えており、徹底したリサーチを通じて投資妙味のある企業および証券を選定していくことで、魅力的なリスク調整後リターンの創出が可能であると考えています。

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

※ファンドマネージャーのコメントは、エヌ・ダブリュー・キュー・インベストメント・マネジメント・カンパニーのコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

改めてお伝えしたい、当ファンドの3つのポイント

POINT
1

米ドル建資産に投資、
**高水準の
インカムを追求**

POINT
2

市場が大きく
変化する中でも
**安定した
パフォーマンス**

POINT
3

有望企業を選択のうえ、
最も投資効率が
良い証券に投資する
**NWQ社の
独自の投資戦略**

※当資料中においてNWQインベストメント・マネジメント・カンパニーをNWQ社と表記することがあります。

NWQインベストメント・マネジメント・カンパニーについて



世界最大級の年金運用機関
TIAA
(全米大学教職員保険年金協会)



nuveen
A TIAA Company

TIAAの資産運用部門
NUVEEN LLC
(スビー・ン)

NWQ
from nuveen

企業分析、バリュー投資のスペシャリスト

NWQインベストメント・マネジメント・カンパニー

運用資産残高：約122億米ドル（約1.3兆円*） 従業員：33人（内、運用担当21人）
業界経験年数：平均約21年 運用チームの企業訪問数：約1,200件（2019年）
当ファンドの類似戦略のアナリスト人員数：株式／16人、株式以外／5人

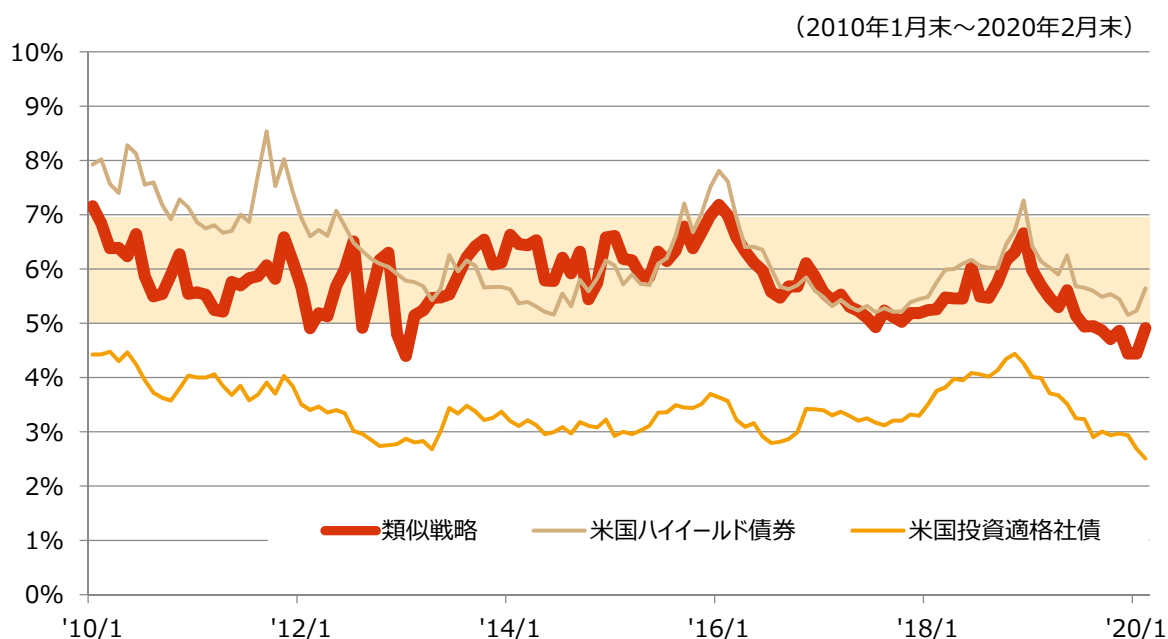
※2019年12月末時点。* 換算為替レートは、（2019年12月末時点のレート）1米ドル=108.61円。
（出所）NWQインベストメント・マネジメント・カンパニー

Point 1. 高いインカムがパフォーマンスを下支え

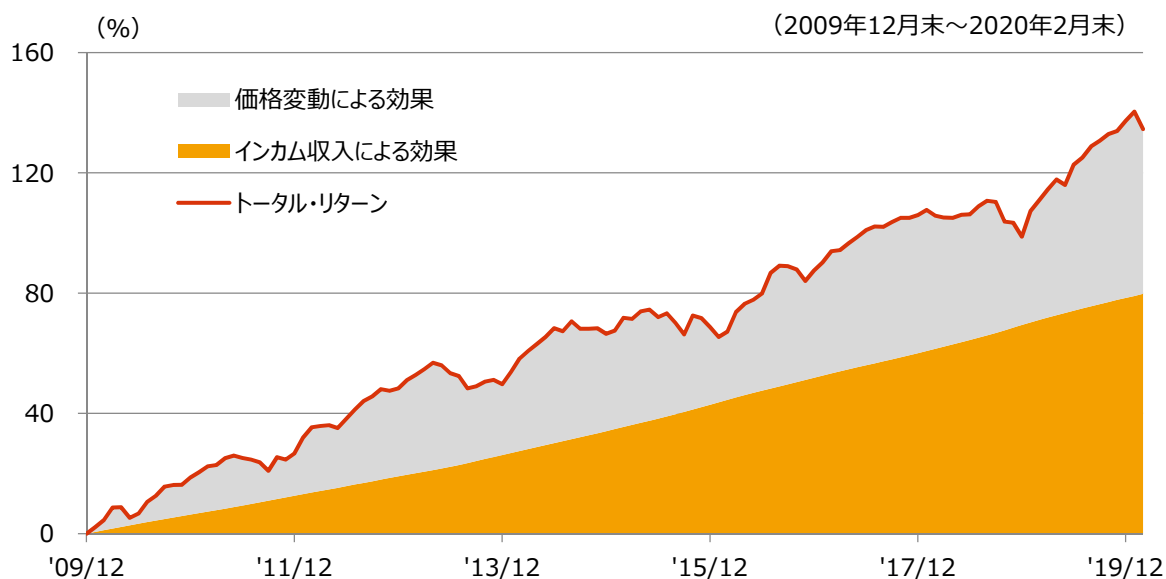
当ファンドの類似戦略の利回りは、相対的に高い水準を維持してきました。

相対的に高いインカムの積み上げがパフォーマンスを下支えしています。

利回りの推移



当ファンドの類似戦略のリターンの要因分析



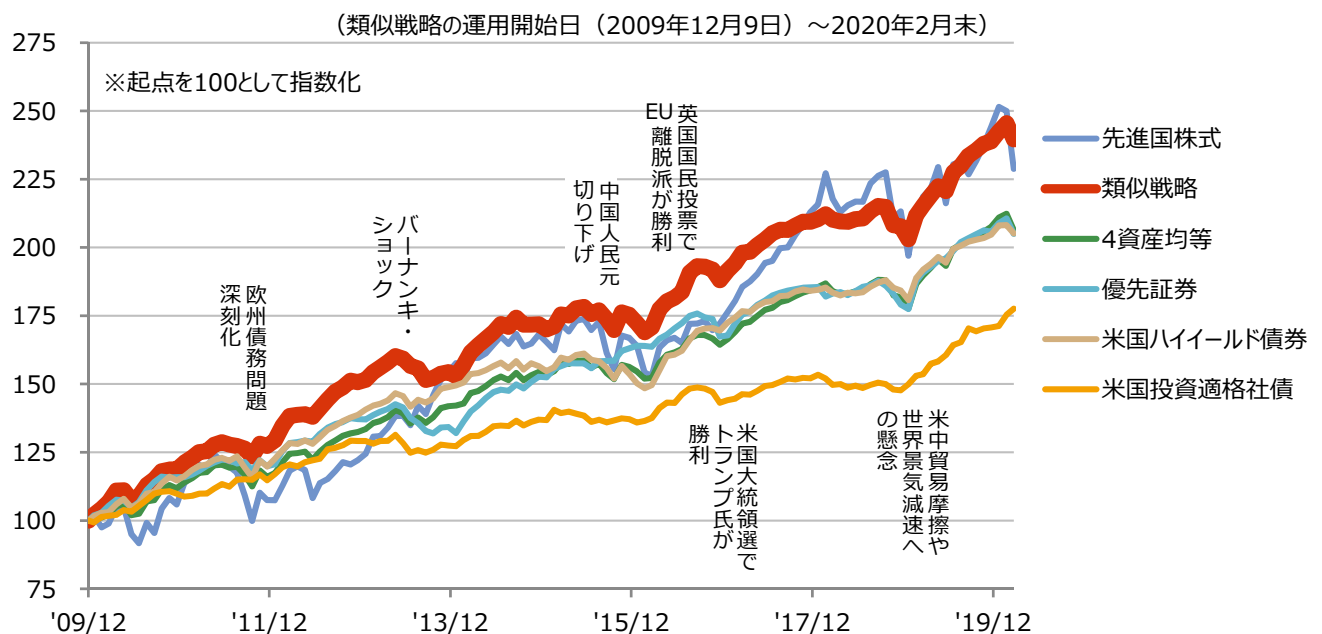
※上記資産はそれぞれ異なるリスク特性を持つものであり、利回りの比較はあくまでご参考です。※利回りは最終利回りを使用。※類似戦略は米ドルベース、費用控除前のパフォーマンス。※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。※「米国投資適格社債」はICE BofAML US Corporate Index、「米国ハイイールド債券」はICE BofAML BB-B US High Yield Indexを使用。

(出所) NWQインベストメント・マネジメント・カンパニー、ブルームバーグ

Point 2. 安定したパフォーマンス

当ファンドの類似戦略は世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資しています。
市場が大きく変化する中でも、安定的なパフォーマンスを実現してきました。

当ファンドの類似戦略のパフォーマンス推移



※4資産均等は米国投資適格社債、米国ハイイールド債券、優先証券、先進国株式に1/4ずつ均等投資したと仮定し月次リバランスしています。※類似戦略は米ドルベース、費用控除前のパフォーマンス。※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。※各資産は米ドルベース、トータルリターン。
※「先進国株式」はMSCI World Index、「米国投資適格社債」はICE BofAML US Corporate Index、「米国ハイイールド債券」はICE BofAML BB-B US High Yield Index、「優先証券」はICE BofAML Fixed Rate Preferred Securities Indexを使用。

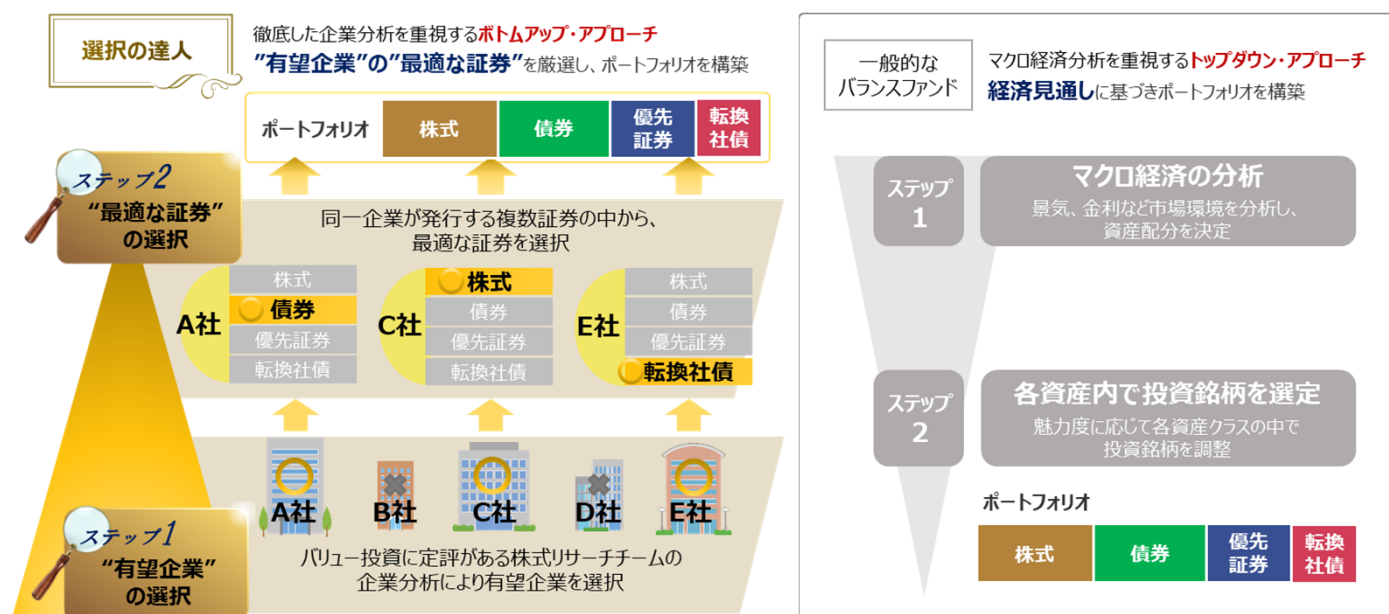
(出所) NWQインベストメント・マネジメント・カンパニー、ブルームバーグ

Point 3. 独自の投資戦略で高利回りの獲得をめざす

当ファンドは、マクロ環境の見通しに基づいて資産配分を行なう一般的なバランス型ファンドとは異なり、徹底した調査・分析に基づいて有望企業を選択し、その企業が発行する複数証券の中から、最も投資効率が良い（＝リスク調整後の期待リターンが高い）証券に投資します。

このような独自の投資戦略により、引き続き高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンの獲得をめざします。

徹底した企業調査で“有望企業”を選択



※上記は資料作成時点のものであり、今後見直す場合があります。※上図はイメージです。

(出所) NWQインベストメント・マネジメント・カンパニー

Ⅰ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 世界の米ドル建資産に投資を行ない、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. 世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資します。投資にあたっては、有望企業を選別のうえ、その企業が発行する証券の中で相対的に魅力度の高い証券を選択します。
 - ◆ ボトムアップ・アプローチにより、個別企業の財務状況、成長性や価格変動のきっかけとなる事象などに着目した評価・分析を行ない、有望企業を選別します。
 - ◆ 同一企業が異なるタイプの証券を発行している場合は、リスク・リターン効率などに着目して、相対的に魅力度の高い証券に投資します。
 - ◆ 運用は、エヌ・ダブリュー・キュー・インベストメント・マネジメント・カンパニーが行ないます。
2. 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのファンドがあります。

為替ヘッジあり

 - ◆ 為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

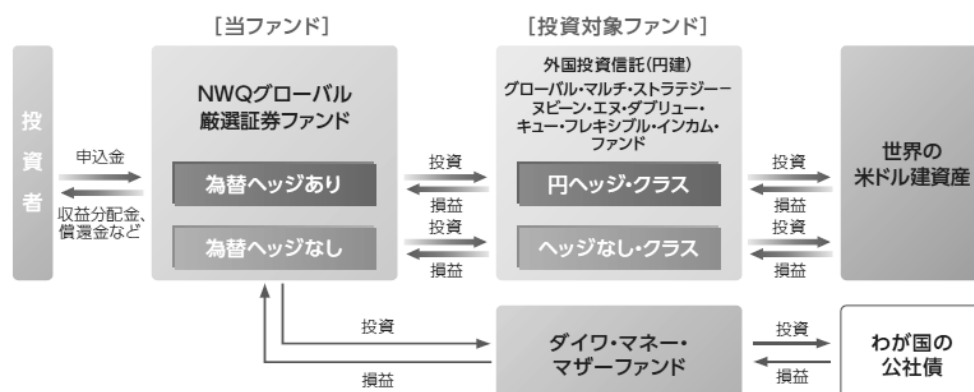
ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

為替ヘッジなし

 - ◆ 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

基準価額は、為替変動の影響を直接受けます。

販売会社によっては「為替ヘッジあり」または「為替ヘッジなし」のどちらか一方のみのお取り扱いとなる場合があります。くわしくは販売会社にお問い合わせ下さい。
3. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。外国投資信託の受益証券を通じて、世界の米ドル建資産に投資します。



- ◆ 各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり）：為替ヘッジあり
NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし）：為替ヘッジなし
- ◆ 各ファンドの総称を「NWQグローバル厳選証券ファンド」とします。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、公社債の価格変動、その他の価格変動）」、「為替変動リスク」、「カントリ－・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※「為替ヘッジあり」は、為替ヘッジを行いますが、影響をすべて排除できるわけではありません。なお、為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※「為替ヘッジなし」は、為替ヘッジを行わないので、基準価額は、為替レートの変動の影響を直接受けます。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉2.75%（税抜2.5%）	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 （信託報酬）	年率1.1275% （税抜1.025%）	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券	年率0.55%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する運用管理費用	年率1.6775%（税込）程度	
その他の費用・手数料	（注）	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等

大和証券投資信託委託株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- 大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更します。

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）（愛称：選択の達人） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
めぶき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1771号	○			

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。